

マザーレイク21計画(第2期)の指標の例

滋賀県環境審議会
琵琶湖総合保全部会
平成22年9月17日(金)
資料5

琵琶湖流域生態系の保全・再生

湖内の保全・再生に関わる指標

【水質の保全】水質項目、有機炭素量、赤潮・アオコ発生日数・水域、溶存酸素濃度、流入負荷推定量(点源、面源)、窒素/リンの栄養塩バランス

【生き物・生育環境】食物連鎖上位種の炭素窒素安定同位対比、プランクトン種の季節性、湖内の環境がよくなったと感じる県民の割合

湖辺域の保全再生に関わる指標

【水陸移行帯の保全・再生】自然湖岸の増加(修復件数)、人工湖岸の自然湖岸化件数、ヨシ帯の面積と希少種の生育場所数、内湖で確認される在来魚種数

【水辺景観の保全・再生】湖岸の漂着物(ゴミ等)の量(一斉清掃時の回収量)、浜欠け件数

【水辺の保全活動の促進】重要文化的景観の指定件数、住民による持続的な水辺活用件数、湖辺がよくなったと感じる県民の割合

【湖底環境の改善】砂地(湖底)造成の事業量、砂底・泥底の割合、水草現存量、魚類・底生生物の種類と生息密度

【レジャー利用による環境負荷の軽減】プレジャーボート騒音苦情件数

【外来生物の防除・駆除】外来生物の種と資源量、外来生物の駆除数(量)

【在来生物の保全・再生】絶滅危惧種、絶滅危機増大種、希少種の数(レッドリスト指数)、湖岸の水辺植物の生息地点数、在来魚介類の漁獲量、水鳥の飛来数・種数、ヨシ帯の面積(再掲)、水辺希少植物の生育場所数、内湖で確認される在来魚種数(再掲) 在来魚の産卵数・孵化率・仔稚魚数

レッドリスト指数・・・ランクの高い種により大きな重み付けをした指数。絶滅のリスクの状態を指数の総和で管理できるメリットがある。

集水域の保全・再生

【森林の保全・再生】健全な森林面積、除間伐を必要とする人工林に対する整備割合、民有林における保安林面積の割合、病害虫・鳥獣による被害面積、森林づくり活動を実践している市民団体等の数

【中山間部から平野部の環境の保全・再生】雨水貯留・浸透施設の設置数、節水型・リサイクル型水利用施設の数(流域単位での農業排水対策の取り組み面積)

放棄水田の面積(農業振興地域内の農用地面積)、

環境こだわり農業普及率(認証面積、水稲における環境こだわり農産物栽培面積の割合)、

生き物が棲める水路の延長、魚のゆりかご水田など豊かな生き物をはぐくむ水田取り組み面積

湖内・湖辺域・集水域のつながり

【河川を中心とした生態回廊の再生】生態回廊として機能する河川の数(多自然川づくりの実施延長)、魚道改修件数

【水陸移行帯の保全・再生】魚のゆりかご水田など豊かな生き物をはぐくむ水田取り組み面積(再掲)、

自然湖岸の増加(修復件数)(再掲)、琵琶湖と行き来できる内湖の数

暮らしと湖の関わりの再生

個人・家庭での取り組みの指標

県内産農林水産物の消費量(現状数値不明)、フードマイレージ(現状数値不明)、
月1回以上湖魚を食べる人の割合(把握方法に課題)、家庭排水に配慮する県民の割合、
自然とふれあう活動に取り組む人数・時間、湖を訪れる観光客数、マザーレイク21計画を知る県民の割合、
雑用水再利用に取り組む家庭の割合

生業での取り組みでの指標

第一次産業の就業者数 と生産高(作付け延べ面積、在来魚介類の漁獲量などで代替)、県産材の素材生産量、
経済活動から発生する汚濁負荷、県外からの肥料の移入量(現状数値不明)、琵琶湖流域の保全活動を実施・支援する企業数

地域での取り組みの指標

環境保全に取り組む団体数・人数、地域の環境保全活動を認知する人の割合、うみのこ・やまのこ・たんぼのこ参加者数

「たんぼのこ体験事業」は自治振興交付金の選択事業の一つであり、実施するか否かは市町に委ねられている。

個人・家庭、生業、地域のつながり

県内外の住民が琵琶湖の保全に参画できるしくみづくり参加者数、
地域を越えた琵琶湖・淀川水系を視野に入れた横断的ネットワーク組織の数、それらが主催する現地調査・交流会の数、多様な主体が参加する交流会の回数・参加者数、環境学習等の事業数、環境情報を提供するHPのアクセス数

・学術委員会提言に例示された指標に一部事務局が追加しました。
・このうち、目標を定量的に表す指標(いわゆるアウトカム指標)として、改訂素案の指標の考え方に合うと思われるものは**太字**としています。